

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 12 月 13 日(2023.12.13)

【公開番号】特開 2023-159463(P2023-159463A)
【公開日】令和 5 年 10 月 31 日(2023.10.31)
【年通号数】公開公報(特許)2023-205
【出願番号】特願 2023-142982(P2023-142982)
【国際特許分類】

H 0 1 H 5 0 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

H 0 1 H 5 0 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 H 5 0 / 0 2 Y

H 0 1 H 5 0 / 1 4 P

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 12 月 1 日(2023.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 接点と、

前記第 1 接点に接離可能な第 2 接点と、

前記第 1 接点と前記第 2 接点とを内部空間に収容し、挿入孔が設けられたケースと、

前記第 1 接点と前記第 2 接点とが接触している状態で前記第 1 接点および前記第 2 接点
に電氣的に接続され、前記ケースの前記挿入孔に挿入された端子部と、

前記ケースの外面に塗布されて硬化した接着剤よりなる、前記端子部を前記ケースに固定
する接着固定部と、

30

を備え、

前記端子部は、

第 1 の方向に延在する根元部と、

前記挿入孔に挿入され、前記第 1 の方向に延在する先端部と、

前記根元部の一端から屈曲し、前記根元部と前記先端部とを繋ぐ交差壁部と、

を有し、

前記交差壁部は、前記挿入孔と対向し、前記挿入孔の内側面に連続される前記ケースの
内面と対向している、

電磁継電器。

40

【請求項 2】

前記交差壁部は、前記接着固定部と対向している、

請求項 1 に記載の電磁継電器。

【請求項 3】

前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向に面する前記先端部の外面は、前記挿入孔の前記内
側面と離間している、

請求項 1 または請求項 2 に記載の電磁継電器。

【請求項 4】

前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向に面する前記先端部の外面の一部は、前記挿入孔の
前記内側面と当接している、

50

請求項 1 または請求項 2 に記載の電磁継電器。

【請求項 5】

前記接着固定部は、

前記ケースの外面に位置し、接着剤が硬化することで形成された第 1 接着固定部と、

前記端子部と前記挿入孔の内側面の間に位置し、接着剤が硬化することで形成された第 2 接着固定部と、

を有する、

請求項 1 から 4 のうちいずれか 1 項に記載の電磁継電器。

【請求項 6】

前記交差壁部は、前記第 2 接着固定部と対向している、

10

請求項 5 に記載の電磁継電器。

【請求項 7】

前記挿入孔に挿入された前記先端部は、前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向において前記挿入孔の中心に対して前記根元部から離間する方向へ偏って位置する、

請求項 1 から 6 のうちいずれか 1 項に記載の電磁継電器。

【請求項 8】

前記ケースは、前記端子部の位置ずれを抑制する位置決め部を有する、

請求項 1 から 7 のうちいずれか 1 項に記載の電磁継電器。

【請求項 9】

前記位置決め部は、前記端子部の前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向における位置ずれを抑制する、

20

請求項 8 に記載の電磁継電器。

【請求項 10】

前記位置決め部は、突起、凹部、またはスリットである、

請求項 8 または請求項 9 に記載の電磁継電器。

【請求項 11】

前記ケースは、前記ケースから前記第 1 の方向に突出する第 1 壁部を有し、

前記根元部は、前記第 1 壁部と、前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向において前記根元部と対向する前記ケースの内面の間に圧入される、

請求項 1 から 10 のうちいずれか 1 項に記載の電磁継電器。

30

【請求項 12】

前記根元部と、前記第 2 の方向において前記根元部と対向する前記ケースの内面との間には、第 1 の間隙が設けられている、

請求項 11 に記載の電磁継電器。

【請求項 13】

前記根元部の他端と前記ケースの間には、第 2 の間隙が設けられている、

請求項 11 または請求項 12 に記載の電磁継電器。

40

50